PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

松江だんだん

会報第４号

舞台を飾る松江市提供　牡丹　舞姫隊の演舞

近　畿　松　江　会

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

ふるさと松江

作詞　近畿松江会

一

神話は語る　佐陀加賀
ご縁嬉し　八重垣
熊野神魂も　鎮座して
だんだん　松江　ふるさと

二

千鳥お城　石垣
嫁が島に　茜さす
松江大橋　カラコロと
だんだん　松江　ふるさと

三

蜆美味し　宍道湖
波に遊ぶ　夕鴨
勾玉湯の町　浴衣がけ
だんだん　松江　ふるさと

四

牡丹薫る　八束路
紫烟けむる　中海
恵比寿ショコホイ　五本松
だんだん　松江　ふるさと

五

意宇川ほとり　阿陀加夜
城の稲荷　神幸祭
掛声華やか　ホーランエンヤ
だんだん　松江　ふるさと

曲は　故郷（ふるさと）作曲　岡野　貞一

うさぎ追いし　かの山・・・

※　近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

近畿松江会　会報第４号

目　　次

表紙題字　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　近畿松江会　顧問　和田亮介氏

会歌「ふるさと松江」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　作詞　近畿松江会

目次「会報第４号」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第５回近畿松江会総会・懇親会「式次第」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

同「参加者名簿」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

同「ご挨拶・祝辞」近畿松江会会長　苅田（かりた） 運三郎・・・・・・・・・・・・・ 4

松江市長　松浦 正敬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

同「総会・懇親会（ふるさと訪問バスツアー）報告」・・・・・・・・・・・・・ 6

総会議事資料「平成２２年度事業報告」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

同「平成２２年度収支決算書」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

同「平成２３年度事業計画（案)」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

同「平成２３年度収支予算書（案)」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

近畿松江会 平成２３年度役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

近畿松江会　「この一年」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

ふるさと訪問バスツアー感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

寄稿集“松江だんだん”・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

会員名簿（中・小学校区別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

広告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

第６９回 近畿松江会

総会・懇親会

日時：平成２３年６月４日（土）
１７：４５～２１：１５
会場：ホテルニ畑
総会：本館２階「梅の間」
懇親会：本館１階「サンシャインホール」
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

次第

【総会】 １７：４５～１８：１５ 司会 幹事長 有田 嵩

近畿松江会初代会長 長谷川吉雄氏追悼 黙祷

１ 開会のことば 副会長 木村八重子
２ 会長あいさつ 会長 神田運三郎
３ 議事
（１）平成２２年度事業報告と決算報告 事務局長 竹谷 獎
（２）平成２２年度会計監査報告 監事 達山 暢
（３）役員改正（案） 幹事長 有田 嵩
（４）平成２３年度事業計画と予算（案） 事務局長 竹谷 獎
４ 閉会のことば 常任幹事 井上 隆吉

・・・・・休憩・・・・・

【懇親会】 １８：４５～２１：１５ 司会 常任幹事 松本 耕司

東日本大震災犠牲者追悼 黙祷

ふるさと定住について イメージリーダー（オリンピックメダリスト） 鈴木紘美子
１ 開会のことば 副会長 小川 龍朗
２ 開会挨拶 会長 神田運三郎
３ 来賓祝辞 松江市長 松浦 正敬
４ 来賓紹介・祝電披露 幹事長 有田 嵩
５ 乾杯 近畿島根県人会会長 和田 亮介

【アトラクション：舞姫隊・若武者隊】（１９：１５～）

紹介と松江市観光アピール 松江市観光文化課 寺本 恵子
６ 歓談・懇親
７ ふるさと「松江」 斉唱
８ 万歳三唱 松江市議会副議長 三島 良信
９ 閉会のことば 副幹事長 澄川 光成

Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

来 賓

松江市長 松浦正敬
松江市議会副議長 三島良信
松江市政策部長 安井春海
松江市観光推進部長 内田敏夫
松江市観光施設部長 安田憲司
松江市産業経済部長 川原良一
松江市都市計画部長 能海広明
松江市議会事務局次長 小山厚
松江市政策部秘書広報課長 杉谷薫
松江市政策部 地域・交通政策課長 足立保
松江市政策部広報専門監 松本英史
松江市産業経済部農林課長 今岡幸男
松江市観光振興部観光文化課長 寺本恵子
島根県議会事務局長 広野正充
島根県地域振興部 市町村課長 井上道子
（社）島根県物産協会専務理事 福原耕一
鹿島地域協議会会長 青山善太郎
島根地域協議会会長 小川勲
美保関地域協議会会長 梅木武雄

八雲地域協議会会長 石田範子
宍道地域協議会会長 藤原治義
玉湯地域協議会賑わい部部会長 福間俊夫
八束地域協議会会長 門脇康雄
松江商工会議所会頭 山陰合同銀行取締役頭取 古瀬誠
松江商工会議所専務理事 木村和夫
（社）松江観光協会会長 鶴鷄修一
山陰中央新報社取締役 松尾倫男
一畑電気鉄道株式会社 代表取締役社長 大谷厚郎
NPO法人ASS松江理事長 原顕夫
松江不動産株式会社 取締役総務部長 竹澤博幸
ホテル武志山荘副支配人 大国千治
近畿島根県人会会長 和田亮介
東京松江会副会長 石倉義朗
京都島根県人会副会長 下田弘子
京都島根県人会常任幹事 林邦幸
京都島根県人会常任幹事 西村講和
京都島根県人会事務局長 下田陽子

特別ゲスト 定住イメージリーダー（オリンピックシンクロメダリスト） 鈴木絵美子

会 員

青戸哲哉（東生馬町）
井上芳子（石橋町）
小川ますみ（京都市）
[illegible]運三郎（浜乃木町）
[illegible]チヱミ（呉市）
木幡泰三（宍道町）
杉原伸治（奥谷町）
武田和子（雑賀町）
達山暢（西津田）
中村博行（新町）
守田宣昭（萩市）

有田嵩（宍道町）
井上隆吉（上東川津町）
押田良樹（大庭町）
[illegible]莞爾（浜乃木町）
木村八重子（東本町）
木幡晃正（宍道町）
澄川光成（雑賀町）
武田貞雄（雑賀町）
田村稔久（石橋町）
藤原敬（東生馬町）
森廣洋子（上乃木町）

伊藤雅義（宍道町）
小川龍朗（島根町）
面白紘（本庄町）
[illegible]京子（横浜町）
小松雅子（明石市）
坂本隆男（上乃木町）
竹内喜次男（竪町）
竹谷奨（八束町）
鳥屋尾勇（出雲市）
松本耕司（上本庄町）

会 友

岩成哲男（中原町）
甲斐梅子（京都市）
京島喜久子（浜乃木町）
城ヶ崎忠志（京都市）
高嶋明美（明石市）
長谷川裕子（高槻市）
三輪百合子（明石市）
脇田茂子（大阪市）

小川定男（大阪市）
垣内三四子（京都市）
小玉好子（灘町）
宗智海（富田林市）
多田美智子（大阪市）
樋口秀子（京都市）
安原正樹（茨木市）

小川ちづる（大阪市）
河村種（京都市）
阪口京子（高槻市）
高木幹一郎（東朝日町）
寺川弘子（大阪市）
松井信子（宇治市）
脇田健晶（大阪市）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会長挨拶

苅田運三郎（雑賀町出身）

会長をつとめさせていただいております苅田でございます。

本日は、早朝よりバスツアーにご参加いただき、誠にありがとうございました。

今日の総会前には、特別のおはからいを頂いて、出雲大社の参拝と本殿の屋根の葺き替えを見学させて頂く筈が、米子インターに入ってから安来～東出雲町間での車両事故による渋滞に遭い、行くことができませんでしたが、いよいよ明日は、松江市が新設された「松江歴史館」組と「出雲大社本殿の屋根葺き替え」組の二班に分かれての見学でございます。

ただ今からの懇親会は、その前夜祭としてどうか心ゆくまでお楽しみ頂きたいと存じます。

それにいたしましても、六年前の創立当初から、松江市はもちろん、松江商工会議所、松江観光協会の一方ならぬご支援を頂いて参りました。

おかげさまで、会員も逐次増えまして 180 名となり、松江開府 400 年祭のフィナーレの年に、松江に於ける二度目の総会を開くことができました。

今夜は、地元の関係者の皆様もたくさんご臨席いただいておりますし、松江市提供の「美女舞姫隊の歌と踊」「イケメン若武者隊の合戦絵巻」を存分にたのしみ、ご歓談頂きますようお願いして、私のご挨拶といたします。ありがとうございました。

総会ご来賓「祝辞」

松江市長　松浦正敬

ふるさと松江へようこそお越しいただきました。皆様を心から歓迎いたしますとともに、第6回近畿松江会の開催を心からお祝い申し上げます。

まず、近畿松江会の設立にご尽力いただきました、故長谷川初代会長様のご冥福をお祈り申し上げます。

会の冒頭、東日本大震災の犠牲者の方に黙祷をささげましたが、犠牲者の方にあらためてお悔やみ申し上げます。福島第一原発の事故につきましても、まだ収束しない状況となっておりまして、原発を抱える本市としても成り行きを注視しているところです。今回の震災を受け、本市でも被災者の方への支援を積極的に行ってまいりました。また、今月１日には防災安全部を新設しましたので、今まで以上に市民の安全・安心の確保に努めてまいります。

こういった状況の中でございますが、被害を受けていない地域が、元気を出して日本経済を引っ張っていくことこそ、被災地復興につながることだと思っております。本日お集まりの皆さまも一緒に、被災地復興のためにも、地域の経済をもりあげてまいりましょう。

さて、一昨年以来、2年ぶりにふるさと松江での開催となりましたが、前回はホーランエンヤに併せ

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

祭のフィナーレの年にふるさと松江で開催していただき、誠にありがとうございました。お忙しい日程の中でございますが、ふるさとの雰囲気を十分堪能していただければと思います。

大阪で開催された昨年に引き続き、本日も旧町村の地域協議会から7名の皆さんが出席されております。今年は地元開催でもございますので、お忙しい中を地域協議会の会長さん方にご都合をつけていただき出席していただきました。どうぞこの後、ふるさとの話題で盛り上がっていただきたいと思います。また、8月には東出雲町と合併をいたします。新しい仲間を迎えることとなりますが、是非近畿松江会におかれましても、東出雲町との一体的な組織をご検討いただけると幸いです。

フィナーレの年を迎えた開府 400 年祭でございますが、総仕上げとして3月19日から松江開府博覧会を開催しております。12月4日までの期間中に、松江城を主会場にJAZZフェスティバルや薪能、創作オペラ「虹の大橋」の上演など数多くのイベントを開催します。また、エリア別テーマ別に様々なルートを設定し松江のまちを歩いて楽しんでもらう取り組みも行っております。長い期間でございますので、何度お越しいただいてもお楽しみいただけると思っております。この後開府400年祭を盛り上げるため組織した、舞姫隊や若武者隊のアトラクションも予定しております。どうぞお楽しみください。

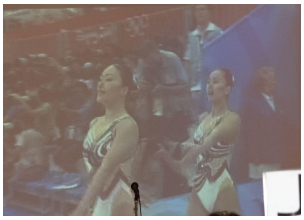
開府博のオープニングに併せ、お城の見える博物館「松江歴史館」が開館しました。皆さまは、明日見学なさる予定と伺っておりますが、城下町松江の歴史をたどる基本展示をはじめ、家老屋敷をイメージした外観、畳敷きの玄関ホールや出雲地方の様式を取り入れた枯山水の日本庭園など、十分に楽しんでいただける施設になっていると思いますので、是非ゆっくりご覧ください。

松江城を国宝にする取組みにも引き続き力を入れています。昨秋には、皆さまにもご協力いただいた署名を持って文化庁長官に要請いたしました。今後も国宝化が実現するよう、専門家による調査の実施や、懸賞金をかけて情報提供をお願いしている大手門の復元のための資料と松江城の棟札の発見などにより、早期に国宝化が実現するよう努めてまいります。

今日は、スペシャルゲストとしてアテネ、北京でのオリンピックでメダルを獲得された鈴木絵美子さんが出席されお話をいただきました。鈴木さんには、東京松江会の石倉さんのご紹介で、昨年から松江市の定住イメージリーダーに就任していただいております。本市では、引き続き定住の推進に力を注いでおります。定住を進めるうえでは、若者の地元定着に加えて、市域外からのUターン、Iターンを進めることも重要な要素であり、そのためには、松江市の魅力を積極的に発信していくことが必要であると考えております。鈴木さんに松江市の情報を発信していただいておりますが、若い女性層にも松江暮らしに興味を持っていただけるものと期待しております。

また、UIターンを促進する取り組みとして、昨年度、東京でUIターンフォーラムを開催しました。東京松江会の皆さまのご協力を得て、約 200 名の方々に来場いただきました。今年度は、関西圏で開催したいと考えておりますので、その際には、皆さまのお力添えをよろしくお願いします。

結びに、近畿松江会のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

第6回近畿松江会総会・懇親会
（ふるさと訪問バスツアー）報告

第6回近畿松江会総会・懇親会は、新設なった松江歴史館の見学と、出雲大社平成の大遷宮工事参拝を目的とするふるさと訪問バスツアーの中で、6 月 4 日（日）夕刻から松江のホテル一畑で開催されました。

［初日・バスツアー］

大阪からのバスツアー参加者は総勢 44 名、4 日早朝8時30分の梅田・阪急バスターミナルに遅れる人は誰もなく、京都島根県人会関係の方も着々合流、無事 2 台のバスに分乗して、予定通り 9 時に大阪を出発しました。

快晴のもと、旅路は順調。早速、缶ビールの蓋も開け、車内は友好ムード一杯の中、ほどなく昼食会場の西の屋美作店（美作 IC）では、その賑いも最高潮になりました。

昼食後はウツラウツラする人も出てくる中、気がつけば米子 IC から山陰道に、そして、その瞬間からいきなりの大渋滞、舞台は暗転しました。

原因は、午前中のトラックの横転？事故の後始末が数時間たってもはかどらずで、高速道ゆえに進むも退くもできず、午後 3 時到着予定の出雲大社が 4 時も無理とわかって、遂に苅田会長から大社さんに本日の到着はむつかしいというお電話を入れるハメになりました。

同時に、出雲大社の正規の大遷宮工事見学は無理でも、明朝、おまいりだけでもと考えられる方のご希望にはお応えしようと、希望者調査をして、初日はまっすぐ総会会場のホテル一畑に向かうことにしました。

今度は、早すぎる到着ということあって、県立美術館で暫時下車。完全な夕陽はおがめなかったけれど、雄大な宍道湖と、可愛らしい縁むすびの兎との対面など、ふるさとの歓迎に心のなごむひと時を過ごせたのは大ヒットの途中停車でした。

［総会］

総会は、ホテル一畑にて、夕刻から開催され、まず、司会の有田嵩幹事長（宍道町）のご紹介で、冒頭に初代会長の長谷川吉雄氏のご逝去を悼み、全員で黙祷の誠を捧げました。

続いて、開会のことばを木村八重子副会長（東本町）が述べ、苅田会長（雑賀町）のご挨拶から、竹谷奨事務局長（八束町）による平成22年度の事業報告と決算報告、平成 23 年度の事業計画と予算（案）、新役員候補の報告と進み、達山暢監事（西津田）より監査報告もなされ、満場一致で承認をいただきました。

総会は、井上隆吉常任幹事（上東川津町）の「閉会のことば」により、滞りなく終了いたしました。
⇒（総会議事資料は別掲）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

［懇親会］

懇親会は、定刻 18 時 45 分に、ホテル一畑「サンシャインルーム」で、松浦松江市長以下、歓迎いただいた地元の皆様を含め 92 目の参加をいただいて開始し、司会は松本耕司常任幹事（上本庄町）が担当しました。

冒頭に、東日本大震災で犠牲になられた皆様への黙祷を捧げ、被災者の皆様の生活が一日も早いことを祈りました。

続いて、「松江の定住促進」のイメージリーダーをつとめておられる北京オリンピックのシンクロナイズドスイミング銅メダリストの鈴木絵美子さんが登場され、ご本人の雄姿の紹介とともに「ふるさと定住」を PR されました。明るく華やかな鈴木さんのお蔭で会場は一気に華やぎ、鈴木さんは懇親会の終了までおつきあいいただきました。

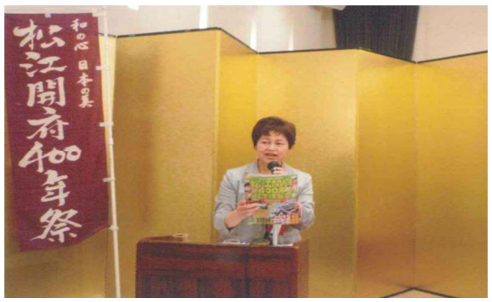
所定のスケジュールは、小川龍朗副会長（島根町）のユーモラスな「開会のことば」で始まり、最初に苅田運三郎会長（雑賀町）がご列席の皆様への感謝のご挨拶をし、松浦松江市長からはご来賓の祝辞をいただきました。⇒（ご挨拶・ご祝辞内容は別掲）

続いて、有田嵩幹事長（宍道町）による、ご来賓の皆様のご紹介、祝電披露を行った後、和田亮介顧問（近畿島根県人会会長）のご発声で高らかに乾杯、勇躍、懇親会に突入しました。

会場が一気になごんだところで、メインイベントの開府400年祭、「松江・美女舞姫隊の歌と踊り」、「イケメン若武者隊の合戦絵巻」のアトラクションをおおいに楽しみました。

「ここが松江か？」という思いはどなたもお感じになったことと思います。舞姫隊、若武者隊の益々の活躍を祈ったことでした。

松江市観光文化課寺本恵子課長からも松江市の観光 PR をいただき、アトラクションは終了しました。



その後は、なが～い、たのし～い懇親の宴が続き、そして予定どおり、午後9時にわれらが国歌「ふるさと松江」を声高らかに大合唱しました。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

続いて、松江市議会三島良信副議長の音頭で「万歳三唱」をした後、「閉会のことば」を澄川光成副幹事長（雑賀町）が、皆様に心からの御礼を申し上げ、来年の再会を約す「閉会のことば」を申し上げて、「懇親会」は終了しました。

［松江の夜］

それぞれに、思い出づくりに市内に出かけられましたが、明日のことを考え早じまいをされ、事故もなく何よりでした。

［二日目］

二日目は、全員で「松江歴史館」ではなく、希望者20名が早朝に出雲大社の参拝に向かい、大根島・由志園の昼食会場で合流するという臨時編成で行動しました。

詳しくは、参加の皆様からの「別掲・思い出」に紹介されていますが、皆様のご協力により誠にスムーズに進行しました。

中でも、出雲大社組は大社さんの当初予定とかわらぬお出迎えに大感激をいたしました。松江歴史館組も松江城や市内散策の時間もとれて、皆様大満足だったようです。

二つのバスの待ち合わせのため、大根島ではたっぷりと大根島から対岸の島根半島を見る時間も持て、なかなかできない体験をしました。由志園の食事とすばらしい庭園の散策など、牡丹と朝鮮人参の島を満喫することができました。

その後、境港水産王国での買い物を終え、全員無事に5日（日）午後7時、梅田・阪急バスターミナルに帰着しました。ご参加の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

年 度　事 業 報 告

月　日	曜日	時　間	行 事 等 の 内 容	場　所	備考
1月15日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 「がんばれ島根」携帯ストラップ贈呈	加茂川館	京都島根県人会主催
1月16日	日	9:00	役員会：同上応援	西京極陸上競技場	
1月4日～21日	土	11:00	前進座初春公演「双蝶々雪の子別れ」観劇	京都四条南座	
2月17日	水	17:00	会計監査	竹谷設計事務所	
		18:30	役員会 総会までのスケジュール・総会案内状検討 森廣洋子さんの提案書について	大　枡	
2月23日	金	13:00	会長・幹事長・事務局長：松江市訪問	関係機関	
3月　4日	木		総会・懇親会案内発送 機関紙愛称募集 映画「RAILWAYS」前売券募集 八雲国際演劇祭案内		
3月17日	水	18:30	役員会：松江市訪問報告、総会・懇親会準備	大　枡	
3月22日	月	9:00	春の選抜高校野球「開星高校」応援	甲子園	
4月14日	水	18:30	役員会：総会申込状況確認、総会準備	大　枡	
4月16日	金	7:20	近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	
5月　5日	水	18:30	役員会：総会、懇親会準備・役割分担等	大　枡	
5月　9日	日	11:00	総会、懇親会 下垣真紀コンサート案内	ホテル阪神	
6月16日	水	18:30	役員会 総会会計報告、機関紙愛称選考、 機関誌発行について	大　枡	
9月15日	水	18:30	役員会：今後のスケジュール、機関紙ゲラ拝	大　枡	
9月22日	木	13:00	八束中学校大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街	
9月30日	木		機関紙（会報第3号）発行		
10月20日	水		役員会 意見交換、前進座正月公演について 山本洋相談役：退任表明	大　枡	
10月27日	水		会長・幹事長・事務局長：松江市訪問		
11月　3日	水		島根県人会総会	ホテルニューオータニ	
11月10日	水		近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	
11月21日	日		北島三郎公演観劇（白木みのるさん出演）	大阪新歌舞伎座	
12月初旬			平成23年度年会費納付のお願 い発送 平成23年度上期行事予定報告		

Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

近畿松江会　収支決算書

（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

収入の部　　単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	16,848		▲16,848	
年会費	456,000	441,000	▲15,000	会員143名×3,000円＝429,000円（22年度分） 会員4名×3,000円＝12,000円（21年度分）
総会費	960,000	791,000	▲169,000	懇親会費84名×7,000円＝588,000円 来賓祝儀19名×7,000円＝133,000円 〃 7名×10,000円＝70,000円
寄付金	100,000	237,000	137,000	100,000円（A松江）、50,000円（和田亮介）、10,000円（若松靖子） 17,000円（高本 薫）、60,000円（達運三郎）
広告料	200,000	237,000	37,000	30,000円×2名＝60,000円、26,000円×1名＝26,000円 13,000円×2名＝26,000円、12,000円×1名＝12,000円 10,000円×3名＝30,000円、6,500円×2名＝13,000円 5,000円×14名＝70,000円
借入金	0	39,652	39,652	達運三郎
雑収入	150	133	▲17	受取利子133円
事業費	0	486,600	486,600	映画レールウエイ前売券1,300円×42枚＝54,600円、 下垣真希コンサートチケット4,000円×8枚＝32,000円 北島三郎特別講演チケット10,000円×40枚＝400,000円
合計	1,742,998	2,232,385	489,387	

支出の部　　単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
総会費	1,000,000	1,148,438	148,438	阪急阪神ホテルズ支払1,088,438円、 下垣真希氏謝礼50,000円、土田和男氏謝礼10,000円
広告費	42,000	42,000	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通信費	60,000	77,231	17,231	切手・ハガキ・レターパック・メール便
印刷費	150,000	245,376	95,376	会報第23号（250部）131,250円、同増刷（100部）63,000円 会議資料・案内チラシ等51,126円
事務費	25,000	75,950	50,950	HP作成ソフト17,800円、HP接続料12,893円、 総会写真プリント代6,790円、コピー紙代17,398円 文具等21,069円、
旅費	53,000	48,800	▲4,200	松江市訪問2回（達運会長、有田幹事長、竹谷事務局長）
雑費	40,000	49,060	9,060	松江市訪問土産代（2回）26,140円、送金料金5,990円、 市町村飲物代（2回）6,730円、広告料返金（一畑電鉄5,200円、 大桝5,000円）
予備費	347,998	70,520	▲277,478	女子駅伝祝儀10,000円、同縁結びストラップ9,450円 近畿宍道会祝儀10,000円、杉原監事選別10,000円、白木みのる楽屋見舞7,000円 機関紙愛称当選商品代15,750円、八束中学激励8,320円
事業費	0	446,600	446,600	映画前売券54,600円、下垣真希チケット32,000円 北島三郎チケット360,000円
払込負担金	25,000	28,330	3,330	
次期繰越金	0	0	0	
合計	1,742,998	2,232,385	489,387	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成23年2月16日

監事　木幡　泰三　㊞

監事　達山　暢　㊞

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

度　事業計画（案）

月　日	曜日	時　間	行事等の内容	場　所	備考
1月15日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 「がんばれ島根」携帯ストラップ贈呈	加茂川館	京都島根県人会主催
1月17日	日	9:00	役員会：同上応援	西京極陸上競技場	
1月3日～22日		11:00	前進座初春公演「きられお富」観劇	京都四条南座	
2月16日	水	17:30	会計監査	大　枡	
		18:30	役員会 総会までのスケジュール・総会案内状検討		
3月　4日	金	13:00	会長・幹事長・事務局長：松江市訪問	関係機関	
3月16日	水	18:30	役員会 ふるさと訪問バスツアーについて 東北関東大震災義援金、物資供給について	大　枡	
3月18日	金		東北関東大震災義援金及び支援物資供給募集案内		
4月　2日	土	14:00	役員会ほか：東北関東大震災支援物資仕分け	竹谷設計事務所	7名
4月　6日	水	18:30	会長・幹事長・事務局長：義援金寄贈	山陰中央新報大阪支社	
4月8日～			支援物資出荷開始		
4月12日	火		ふるさと訪問バスツアー案内状発送		
4月13日	水		近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	参加6名
4月20日	水	18:30	役員会 バスツアーについて 総会、懇親会式次第等について	大　枡	
5月11日	水	18:30	役員会：バスツアー申込状況ほかについて	大　枡	
5月25日	水	18:30	役員会 懇親会来賓の確認、式次第最終決定 役割分担について	大　枡	
6月4日～5日	土・日		ふるさと訪問バスツアー		
以降毎月	第3水		役員会		
随　時			松江市校下小、中学校修学旅行、体験学習応援		
9　月			八束中学校大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街	
			会報第4号発行		
10月			役員松江市訪問		
11月			近畿島根県人会総会・懇親会		
			近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	
			北島三郎　公演観劇（白木みのるさん出演）	大阪新歌舞伎座	
12月			平成24年度年会費納付のお願い発送 平成24年度上期行事予定報告		

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

近畿松江会　収支予算（案）

（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

収　入　の　部　　単位　：　円

科　　目	22年度決算額	23年度予算額	比較増減	備　　考
前期繰越金	0	0	0	
年　会　費	441,000	504,000	63,000	168名×3.000円＝504,000円
総　会　費	791,000	2,170,000	1,379,000	70名×27.000円＝1,890,000円、28名×10.000円＝280.000円
寄　付　金	237,000	100,000	▲ 137,000	
広　告　費	237,000	240,000	3,000	
借　入　金	39,652	0	▲ 39,652	
雑　収　入	133	150	17	受取利子
事　業　費	486,600	300,000	▲ 186,600	北島三郎チケット30×10,000円
合　　計	2,232,385	3,314,150	1,081,765	

支　出　の　部　　単位　：　円

科　　目	22年度決算額	23年度予算額	比較増減	備　　考
総　会　費	1,148,458	2,300,000	1,151,542	
広　告　費	42,000	42,000	0	年賀・暑中見舞い広告（山陰中央新報社）
通　信　費	77,231	80,000	2,769	案内状発送費等
印　刷　費	245,376	250,000	4,624	機関紙発行、案内状、会議資料
事　務　費	75,950	50,000	▲ 25,950	文具、コピー紙等
旅　　費	48,800	50,000	1,200	松江市訪問
雑　　費	49,060	50,000	940	松江市訪問手土産等
払込料金負担	28,390	40,000	11,610	
借入金補填	0	39,652	39,652	
予　備　費	70,520	142,498	71,978	
事　業　費	446,600	270,000	▲ 176,600	
次期繰越金	0	0	0	
合　　計	2,232,385	3,314,150	1,081,765	

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

役員改正

（平成２３年１月１日～２４年１２月３１日）

顧問	和田亮介	（宍道町）
相談役	伊藤雅義	（宍道町）
会長	苅田運三郎	（雑賀町）
事務局長	竹谷樊	（八束町）
副会長	小川龍朗	（島根町）
副会長	木村八重子	（東本町）
幹事長	有田嵩	（宍道町）
副幹事長	澄川光成	（雑賀町）
常任幹事・広報	松本耕司	（上本庄町）
常任幹事・地域	井上隆吉	（上東川津町）
常任幹事・地域	井上芳子	（石橋町）
常任幹事・地域	押田良樹	（大庭町）
常任幹事・地域	中村博行	（新町）
常任幹事・地域	木村恵吉	（雑賀町）
常任幹事・地域	伊藤征治	（北堀町）
監事	木幡泰三	（宍道町）
監事	糸川孝一	（北堀町）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

第５回総会（平成２２年５月９日）以後、
第６回総会（平成２３年６月４日）

平成２２年

☆６月１６日（水）６月期　三水会

・平成２２年度総会および総会会計総括

・会報改め機関紙としての愛称名選考

３月４日からの機関紙の愛称募集の結果、１１名（１７愛称）の応募のうち松浦松江市長、和田顧問、苅田会長、有田幹事長、松本広報担当幹事により選考。金山富美さんの「松江だんだん」に決定。次点は苅田チエミさんの「だんだん」でした。

お二人に八雲塗の記念品を贈呈

・会報第３号「松江だんだん」発行について協議。第２号以上の編集を目標

☆９月１５日（水）９月期　三水会

・会報第３号ゲラ拝、修正加筆。発行部数を２５０部、発送を９月末に決定

☆９月２２日（木）

松江市立八束中学校２年生の天神橋３丁目の「天三おかげ館」にて大阪商人の心得を受講し、２丁目及び３丁目、２箇所で八束（大根島）特産品（牡丹苗、人参コーヒー、牡丹染めほか）の販売と観光ＰＲを応援

「生徒数　男子 16 名、女子 19 名、計 35 名」

☆９月３０日（木）機関紙松江だんだん

会報第３号　発行

☆１０月２０日（水）１０月期　三水会

・９月２２日の八束中学校生徒体験学習感想文を紹介（皆がいい思い出に・・・）

・「前進座初春公演」観劇募集について協議

・山本洋相談役、退任表明

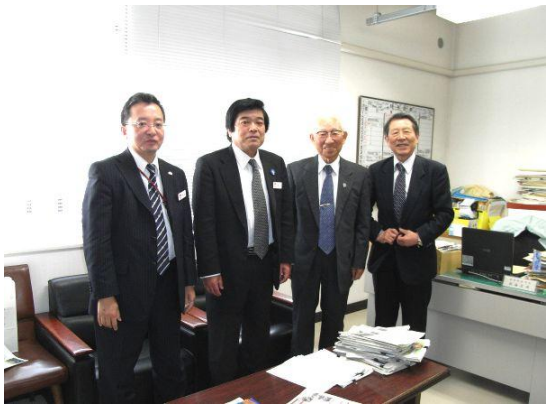
山本相談役におかれましては発足当時よりお世話になりました

役員会より記念品贈呈、お好きなカラオケでお別れした

☆１０月２７日（水）

・会長・幹事長・事務局長、松江市役所・商工会議所ほかを訪問

平成２３年度総会・懇親会を松江市で開催することを報告し、協力を依頼



☆１１月３日（金）第　回近畿島根県人会　参加

☆１１月１０日（水）第　回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加

☆１１月２１日（日）白木みのるさん出演「北島三郎公演観劇 於　大阪新歌舞伎座」

・楽屋見舞いに大根島の牡丹をお届

白木みのるさんより手ぬぐいプレゼント

☆１２月初旬

・平成２３年度会費納付のお願い発送

・平成２３年度上期行事予定報告

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

☆１月１５日（金）　役員有志
・全国都道府県対抗女子駅伝激励会に参加し、「がんばれ島根」携帯ストラップを監督、コーチ、選手へ贈呈

☆１月１７日（日）随意
・全国都道府県対抗女子駅伝を京都西京極陸上競技場、沿道にて応援

☆１月３日（月）～２２日（土）随意
・恒例劇団前進座初春公演「切られのお富」観劇　於　京都四条南座

☆２月１６日（水）２月期　三水会
・平成２２年度会計監査を実施
・総会・懇親会を松江市で開催についスケジュール確認、案内状検討

☆３月４日（金）
・会長、幹事長、事務局長、松江市役所、商工会議所、ほかを訪問
松江歴史博物館見学をメインに、アトラクションほかについてお願い

☆３月１６日（水）３月期　三水会
・３月１１日の東北関東大震災犠牲者に黙祷
・同上義援金及び支援物資供給を会員へ呼掛け決定
・松江市での総会・懇親会を「ふるさと訪問バスツアー」と題し検討

☆３月１８日（金）義援金及び支援物資供給のお願い発送

☆４月２日（土）支援物資仕分け
・紙おむつ、タオル、各種衣類、学用品、日用雑貨他段ボール１５箱

☆４月６日（水）会長、幹事長、事務局長にて義援金寄贈
・山陰中央新報社大阪支社を通じ、日本赤十字社へ
※総額 368, 750 円
大変ありがとうございました

☆４月８日（金）～随時　支援物資発送
・発送は物資受付状況を判断しながらの為、全物資送付迄一月を要す
発送に在っては和田哲㈱の協力により運送会社の優遇を得た

☆４月１２日（水）ふるさとバスツアー案内状発送
・大震災における自粛も考慮したが、松江市へ元気を届ける意味もあり予定通り決行することにするも案内が約２０日遅れとなる

☆４月１３日（水）有志
・第回島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に４組（１２名）参加、近畿松江会　山口正明氏が優勝
団体は 25 位
※参加者を募集しています
電話 072-696-7334　井上常任幹事迄

☆４月２０日（水）４月期　三水会
・総会、懇親会式次第等検討

☆５月１１日（水）５月期　三水会
・バスツアー申込状況不調、動員をお願い
・総会、懇親会式次第等詳細検討

☆５月２５日（水）総会直前　三水会
・懇親会来賓の確認、式次第最終決定、役割分担確認

☆６月４日（土）５日（日）
ふるさと訪問バスツアー
総　会　ホテル一畑　梅の間
懇親会　ホテル一畑　サンシャインホール

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

ふるさと訪問"バスツアー"

感 想 文

ふるさとを訪ねる、童心に帰ったバスの旅。

往路の山陰道での午前中の交通事故の影響が午後まで長引き、我々のバスはそれを知らずに突っ込んで退くことも下りることもできず、初日の出雲大社参拝の中止といういきなりのオオゴトがありました。

しかし、それにもめげることなく、皆様から元気な二日間の感想をお聞かせいただきました。有難うございました。(アイウエオ順)

■伊藤雅義(宍道町)

1. 懇親会に、松浦市長はじめ多くの来賓のご光来をいただき、感激。
2. あの場面でメダリストの登場に、いささか面食らう。
3. 若武者隊による演武や舞姫隊による演舞に、ここが松江かとたまげる。
4. 松江歴史館で、松江の文化・歴史にふれたあと天守を見ながらの一服は正に至福のひととき。
5. 車窓から眺めた街並み、由志園のみどりは一段と美しく、松江をふるさとにもった喜びをかみしめる。
6. 渋滞により出雲大社に参拝できなかったのは残念。ただ見方を変えて、我々が乗車したバスが大事故の事故車でなかったことを喜ぶ。(大黒主神のおかげ)

■井上芳子(石橋町)

6 月のふるさと松江訪問バスツアーに、大阪の友人 2 人を誘って参加致しました。

私も結婚を期に大阪に出て何度も帰省していますが、ひさしぶりに松江城の天守閣にのぼり、歴史館では生菓子で抹茶をいただき、我がふるさとの良さをあらためて自慢しました。

2 人とも大変喜び、又、松江に来たいと言っていますので、今度はイベントの時に誘いたいと思っています。

■押田良樹(大庭町)

いつもは一人、車で帰る松江ですが、皆さんと一緒に賑やかにお国入りするのはまた格別に楽しい経験でした。まず車窓から景色がゆっくり見られるし、高いところから見るので風景がいつもと違って見えて新鮮でした。

山陰道の不通のため初日に出雲大社へ行けなかったのは残念でしたが、懇親会では地元の先輩に 50 年ぶりに再会できたし、歴史館、由志園と松江再発見ができ、会の皆さんとの親睦も深まったと思います。

由志園で皆さんと別れ 2 日間大庭の家に滞在しました。翌日合銀の展望フロアに上って市街を眺めますと、くにびき大橋の東に建設中の第五大橋が見えました。また松江は変わっていきます。

古志原の緑山公園(昔の陸軍墓地)の急坂を上り、もう何年も前に移った母校四中を初めて見てきました。これからも帰省の折には古い松江、新しい松江の見聞を広げようと思います。

■面白 紘(本庄町)

予想もしなかった交通事故による渋滞と、ある程度は予想された自然渋滞で、車中での時間が若干多かったが「近畿松江会ふるさと訪問バスツアー」では楽しい 2 日間を過ごすことができました。

新しく出来た「松江歴史館」では 18 年間過ごしたふるさと松江を再発見した。また、展示されていた江戸時代の地図に、殆ど記憶にはないが 5 歳まで住んでいた本籍地「魚町(白潟魚町)」の名前が記載されており、感慨無量のものがあった。

「松江歴史館」見学の後の自由時間は、観光は止めて、寺町にある菩提寺「祝盛山宗泉寺(文安2年・1,445 年、現在の地に再建)にお参りすること

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

にし、寺町まで市内を散策した。

その道すがら松江大橋で、大橋川でボートの練習をしているのに遭遇した。松江高校時代のクラス対抗戦ボート(エイト)で、放課後宍道湖で練習し、新大橋～松江大橋間を漕いだ記憶が懐かしく思いだされた。

今回のバスツアーでは、近畿松江会の皆様と楽しく語り合うことができ、また大根島からは対岸の母校・本庄中学校を見ることができ、大変楽しいひと時を過ごすことができました。

幹事様、ありがとうございました。

■小松雅子

近畿松江会の今回の松江ツアーにおいては、とてもゆったりと楽しく過ごすことが出来ました。

ツアーにあたり、企画されたスタッフの皆様方の陰のお力に心から感謝いたします。

交通事故の影響を受けて、初日に出雲大社を参拝できないというアクシデントはありましたが、二日目の臨時選択という適切なご判断で、出雲大社の 60 年に一度の“平成の大遷宮”も拝見することが出来ましたことは、この上ない感動でございました。

私は明石に住まいしておりますが、松江は親類や大学時代の友人、又、仕事における友人など、何かとご縁の深い町です。

開府 400 年祭が終わっても、又、松江ツアーを心待ちにしております。

第二のふるさと松江のこれからの発展と、近畿松江会のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。有難うございました。

追伸　実行委員の皆様へ

この度は有難うございました。こまやかなお心配りのお蔭でツアーの成功がありました。感謝いたします。

■木幡晃正(宍道町)

いつもお世話いただき、ありがとうございます。

「なでしこジャパン」の金メダルの奇跡的獲得！私は奇跡は起こりえない、つくりごと、ものがたりと思っていましたが、これから奇跡を信じることにいたしました！

先きの松江会での出雲大社本殿の屋根工事の、皇室の方しか入れないぐらいの場へご案内していただき、これは私の人生での奇跡でした。

松江会のおかげですごい体験ができました！ありがとうございました。

出雲大社遷宮の頃に、又、松江にて松江会があり、皆様揃って美しき本殿参拝ができれば、会の皆様のご多幸と松江会の発展祈願が出来てよろしいのではと思い、ご提案致します。

これからも健康に留意し、毎回出席していく所存です。

■木幡泰三(宍道町)

【6 月 4 日(土)】

6 月 4 日(土)～5 日(日)のふるさと訪問ﾊﾞｽﾂｱｰの出席は私が身障者であるため、皆様にご迷惑をかけると思い、欠席も考えましたが、今回は「松江歴史館」を見学したいのと、「由志園」を観たいため出席しました。

もう一つは事務局のご配慮で車椅子を手配していただき、今まで乗ったことはありませんでしたが、感激いたしました。

6 月 4 日(土)は予定どおり出発するも、米子を

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

過ぎ、安来からの高速に入ったところで、交通事故の影響で2時間予定が狂い、初日の出雲大社参拝は中止になりました。17時30分からのホテルでの総会・懇親会がメーンの行事となり、郷里松江の方々や松江市関係者の方々との懇親を楽しみました。

6月5日(日)は、朝一番の行事は、松江歴史館見学と出雲大社参拝の選択になり、私は目的の松江歴史館を見学することにしました。

歴史館の駐車場で降り、車椅子を押していただいて、初めて乗ることができました。(感謝)

私が驚いたのは、歴史館のフロアは畳と床板でしたが、畳の広い座敷も車椅子を利用してもOKであり、感動した次第です。又、途中で座敷に座ったり、喫茶店方式の椅子/テーブルで松江の和菓子と抹茶で休憩をしたり、松江の雰囲気をたっぷり味わいました。

これから松江歴史館に興味のある方には、車椅子に乗ったままでその雰囲気を味わうことが可能であるとPRしたいと思います。

その後、大根島にバスで移動し、由志園を観光しましたが、由志園は広大な魅力ある庭園であるため、ゆっくりと観る必要があると感じましたので、関西に住んでいる家族、親戚を連れて、近い内に再び訪れたいと決めています。

■坂口京子

先日は、松江出身でない私にまで参加のお声かけをいただきまして、ありがとうございました。

今まで私の旅行は個人、あるいは旅行社の団体旅行で、今回の松江会のように多人数でありながら和やかなグループの旅は初めてでした。

夜の懇親会では食べきれないほどのご馳走と、松江市長様(カッコ良い~)とかお偉い方々、そして北京オリンピック・シンクロ銀メダリストの鈴木絵美子さんにメダルを触らせていただきました。メダリストと紹介される前に後ろ姿を拝見していましたが、この方は普通の方ではないと思っていました。きっと鍛え上げられた体とオーラなのでしょうね。

やはり凄い方々、普通の旅ではお会い出来ないような方々にお目にかかれて感謝しています。

又、大根島でボタンの花を栽培し、台湾に輸出されてる方にお話を伺うなど、松江の一部分に触れさせていただき、良い思い出が出来ました。

お世話いただきました役員幹事の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

■下田陽子(京都島根県人会)

近畿松江会の皆様にご一緒させていただくこの度の松江旅行をどれほど楽しみにしていたことか・・・想像以上に楽しい旅行でした。

大阪梅田を出発し、旅行の幕開けに早速ビールを"プシュッ"とあける。この一口がたまりません。どんな経験ができるのかワクワクしていました。

中でも、出雲大社の大屋根葺替工事では、本当に素晴らしい体験ができました。千家宮司様、禰宜様から直々にご説明をして下さり、葺替工事の現場に足を踏み入れた時、職人の方々が黙々と檜皮を手に「トントン トントン」と檜皮葺き作業をされていました。圧倒するような大屋根の上でなされる檜皮葺き作業の光景と音・・・。この空間には時代を忘れさすような、又、歴史の重みのような何とも言えない不思議な感動を覚えました。

他にも、由志園での散策、昼食夕食とも気さくに話して下さる松江会の方々との楽しいお食事は今でもありありと脳裏に浮かんできます。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

又、予定外に立ち寄った島根県立美術館では、強風でも髪を振り乱しながら必死に「縁結びうさぎ」を撫でたこと・・・、大根島の展望台でさくらんぼのような木の実を食べて舌が黒くなり少し後悔したこと・・・、想いだせば本当に心に残る楽しい時間を過ごすことができました。

このように心から楽しめた背景には、思いもよらぬ大渋滞で大幅に予定を変更せざるを得ない中、和田顧問、苅田会長、竹谷事務局長、松本常任幹事がバスを超えた連携プレーで、早急な判断、対応をして下さった事、出発から解散まで松江会の皆様の温かいお心遣いがあったからだと心から感謝しています。

このような機会、良き想い出をいただき、本当に有難うございました。

■武田和子(雑貨町)

この度は竹谷事務局長はじめ役員の皆様方のあたたかい御支援によって 86 歳の高齢の私も二年ぶりにふるさと訪問のバスツアーに参加させて頂き本当に有難うございました。

大社参拝はかないませんでしたが、小学校、女学校通学の 10 年間すごしたなつかしい松江の街にすばらしい歴史館ができて “山陰文化の中心と栄えゆく都 あゝ松江” と市歌であったか思い出して感激の時を味わいました。城下町の情緒をまたゆっくりと体験致したいと思います。

ホテル、由志園の食事、ふるさとの味は大変おいしかったです。大根島のぼたんの美しさには感動致しました。日本庭園も立派で心洗われました。小泉八雲の旧居まで見学がかない満足致しました。大変遅くなりましたが、御厚情を心より感謝申し上げます。

■鳥屋尾　勇(大枡・出雲市)

ふるさと訪問バスツアーでは、お世話になりました。

朝、集合場所に行くと、女性会員さんの多さ、又、役員さん達が資料・のぼり、搭乗名簿と気配りがヒシヒシと伝わる緊張感に、今日は楽しみと期待感が広がる。

バスに乗ると、段取りどおりの役割分担の手際の良さに感心し、昼食後の午後の山陰道で事故による交通渋滞のハプニングもあって、出雲大社は明日の楽しみになったものの、バスは一路ホテル一畑へ、気持ちよく松江に到着しました。

総会を手短かに終わり、懇親会に入ってからは驚きの連発。松江市のリーダーの方の勢ぞろい、懐かしい人との出会い、料理の質と量にも満足、そして目の保養には舞姫隊と若武者隊、特に舞姫隊の舞にはうっとり・・とし、大満足のパーティでした。その後は、部屋に帰り同室のメンバーとの懇談に花が咲き、この会話がまた楽しく為になりました。

常に、松江会のまとまりの良さには関心を持っておりましたが、その一角を見たような気持ちになりました。段取りの良い人、気遣いの良い人、少しの時間も大切にする人と・・。

二日目の松江歴史館は初めての見学でした。また、大根島の八束支所近くの高台(大塚山)にあんな眺めの良い場所があるのも初めて知りました。　楽しい二日間を有難うございました。

■中村博行(新町)

6 月 4 日に開かれた松江における近畿松江会の懇親会。席上登場した「舞姫隊」は、若さが溌剌して、可愛いし、元気もよく、そして歌も踊りも明るくて素晴らしかったです。

翌日、「松江歴史館」見学後、お城に向かったら、松江城山公園のステージでも踊りを披露していました。踊りのあとは、お城の横の売店で販売員もしていて、とにかく一生懸命の観光活動が印象に残りました。

「若武者隊」は、派手さこそ「舞姫隊」に一歩譲りますが、こちらの演武の方もなかなか良かったです。両者力を合わせて松江観光にこれからも活躍することを祈っています。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

■長谷川裕子

松江に行ったのは今回で二度目ですが、今回の訪問でいかに松江が観光に力を入れて、そして松江の良さをいかにアピールしているかを感じる事が出来ました。

近畿松江会の皆様の故郷への強い思いが後押ししていると強く思いました。

■松井信子

テレビでしか見たことのなかった出雲大社、宍道湖、名前すら知らなかった(失礼)大根島。もちろん、島根県に旅行したのは初めてです。又、知らない方々とご一緒というのも楽しみでした。

心に残った事。

・出雲大社の見学では、歴史と伝統の深さを感じさせて頂きました。

・由志園での昼食では、初対面にもかかわらず島根県の色々なお話を聞かせて頂きました。もっと時間があったら‥と残念でした。

・時間の都合上、松江散策が出来なかった事も残念でした。

でも、お蔭様で楽しい旅行が出来ました。お世話頂いた方々に感謝をしています。

有難うございました。

■松本耕司(上本庄町)

思いがけない山陰道の交通事故で、初日のハイライトである出雲大社参拝を断念するハメになったが、この嫌な出だしの思いも二日目の出雲大社さんのご配慮あふれる接遇のお蔭で吹き飛んだように思う。

二日目の松江歴史館見学を断念して、出雲大社参拝にこだわった信心深い?有志20人は、ホテルを早朝に出発するという努力を払った以上のすばらしいご利益をいただいた。60年ぶりの平成の大遷宮の様子だけ拝見し、静かに参拝だけして帰ろうと思っていた我々20人を、なんと初日に準備されていたと同じ体制でお迎えいただいたのである。望外のご接待であった。

千家宮司さんのご挨拶をいただいただけでも驚いたのに、ついには修復中のご本殿の囲いの中に入り、階段を上がって、檜皮葺きの現場まで拝見させていただいた。修復工事が終わって本殿がその雄姿を見せてくれた時、「あの屋根と同じ高さまで歩いて上がったことがあるよ」と言えるのは、何と素晴らしいことであろうか。今からワクワクする思いである。

どうやら、檜皮葺きをしていた4人の職人さんは、我々のために臨時に休日出勤をして作業の様子を見せていただいたようである。出雲大社さんのお心配りには心から感謝を申し上げたい。このご恩義にお応えするには、これからはあだやおろそかな信心ではならじと決意して大社さんを後にさせていただいた次第であった。本当に"だんだん"でした。

驚いたというか、勉強になったことがもう一つ。大社さんの本殿は国宝なのに、伊勢神宮が国宝でないのは何故でしょうか? それはお伊勢さんは遷宮のたびに全面建て替えをするので、国宝にはなれないということなのだそうです。

それに比べて大社さんが国宝である理由は、60年ごとに傷んだところだけを、60年前と同じ材質のものを全国から探してきて、部分補修を積み重ねてきているからだそうです。国宝を維持するということは大変な努力がいるものですね。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

町内楽　松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”を言う」ページをつくり、何人かの方にご寄稿をいただきました。

わが町・わが村・・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、タイトルも、「スキニシテ　ゴシナイ」としています。

お願いしたのはただ一つ。「松江松江と言っても広いので、旧市内の話であれ、在郷（ザイゴ）の話であれ、誰もがしらない大字・小字の細部の話にこだわってもらった方が「エエダナイカ？」と言うことです。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内のリレーのように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケンネ。

まずはご一読ください。

（掲載はアイウエオ順）

■「ふるさと宍道の思い出」

有田　嵩（宍道町）

平成 23 年は、故里を思い、激励し、頑張ろうと声をかけ合う歳である。特に 3 月 11 日、東日本大震災から人と人との絆を強くしている。

松江市域の西南部に位置する宍道、宍道湖を前面に、奥に雲南部の農産物、和鉄等を集める海陸交流の要地として栄えた宿場町であった。

＜名所旧跡等＞」

○八雲本陣（木幡氏邸）
○要害山
○宍道湖岸（北津、中津、原津）
○ふるさと森林公園
○祭　れんげ祭（3 日間）

＜宍道湖での泳ぎ＞

宍道の街を南北に佐々布川が湖に流れる。そこから西の岸壁の方が遊び、泳ぎの中心地であった。夏、朝 5 時ごろ、仲間達と一緒にエビ採りのタモを持って湖の岸壁を西の方へと進み、タモでエビを採ったものである。これは楽しく、うれしい手練であった。午後は、先輩に泳ぎ方をいろいろ学び泳ぎ、波に乗るようになる。時々水にもぐって、シジミを採った。遊び泳ぎ疲れて、帰るようになる、赤い夕陽が斐川平野に沈んでいく様子をみて想いにふける時もあった。

天気のよくない時は、余り遠くない女夫岩付近の“つつみ（沼）”で泳ぎ、岸の松の枝から飛び込みを繰り返した。このお蔭で、最近、プールで泳ぎ、飛び込みも苦にならず楽しく泳いでいる。

＜要害山＞

宍道湖の南 300mにある要害山は戦国時代、宍道城の支城として築いた拠点、標高 50m余りの小山だが、宍道湖をはじめ東西南北の地形、交通往来を見渡せる要衝である。山上には合図のノロしをあげたと見られる岩穴がある。この直ぐ下に広場があり、桜の名所として賑うところである。昭和 20 年、この広場を開墾して甘藷を植え、食糧増産を行ったものである。広場は固くなかなか苗を植えるようにならず、撒き水を繰り返した。麓の小川から急な坂道の水運びは、小学生にとって大変な重い仕事だった。

戦国時代の兵は、この甘藷づくりをどう思ったであろうか。

作業の後、町長から力強い激励の挨拶があり、感動したものである。

66 年前のことだった。

■「西津田の夏の日」

糸川孝一（北堀町）

私は北堀町の出身であり、この夏に大阪に転勤するまでは北堀の地で親と一緒に住んでいた。しかし、今からさかのぼること 41 年前、大阪で万国博覧会が開催された 1970 年のころは、今の北堀の家には祖父と祖母が住んでいて、私たちは父の勤める会社の社宅がある西津田に住んでいた。当時の西津田は現在のように開発されておらず自然が多く残っていて、社宅のすぐ前にも「美月池」という大きな池があり子供たちにとっては本当に楽しい遊び場であった。

夏になると、池の水面上を定期的に行き来するおんじょ（ギンヤンマ）を夢中になって採った。釣りをすればフナがたくさん釣れ、時には

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

ンガエルが大きな声で鳴いていた。ある日、ついにその巨大なカエルを捕まえることに成功し、母に「これは食用のはずだから料理して」と頼んだが「無理！」と言われたので。リンゴの木箱の中に入れて厳重に蓋をして庭においておいたが翌朝にはなぜか逃げていた。

ある夏の日、その池に落ちたことがある。自転車のハンドルを右に切りすぎ、自転車ごとドボーンと池に落ちてしまったのである。勢いで私は一瞬水中深く沈んだが、泳ぎには覚えがあったので難なく浮き上がりすぐに陸にあがった。しかし、大切な自転車は池の底へとゆっくりと沈んでいきやがて見えなくなった。大切な自転車を池に落としてしまい「これは大変なことになった、こっぴどく叱られる」と思った。びしょ濡れのまま家に帰り「池に落ちた、自転車は沈んでなくなった」と言うと、母は目を丸くして驚いたが「すぐに服を脱いで、風呂に入りなさい」と言っただけであった。私は叱られることを覚悟していたので何となく拍子抜けしたのを覚えている。

当時の母の気持ちを考えると「とにかく無事でよかった」という安堵の気持ちでいっぱいだったのに違いない。わが子がとても危険な目にあったのだから。母は心底肝を冷やしたであろう。本当に心配をかけたと思い、今でも大いに反省している。子供は、親の愛情をいっぱい受けて育つのであるが、子供はその時はそのことにあまり気が付かないものだ。私も 23 歳の息子と 20 歳の娘を持つ身になって少しはそのことがわかるようになってきた。

しかし、あの夏の日に限らず、今でも親には様々なことで心配をかけているようである。もうじき 50 歳になるが反省しきりである。

追伸

なお、出身地である北堀町については次回寄稿させていただきます。乞うご期待？

■「上乃木界隈物語」

押田良樹（大庭町）

今年の市報松江 5 月号の「松江の皆さんこんにちは」に拙文を載せてもらう機会を得て、小学校 4 年生から高校卒業までの 9 年間を過ごした上乃木界隈のことを書いた。そのとき字数の関係で書ききれなかった思い出をこの紙面を借りて書いてみたい。

今は「けやき通り」と名付けられ、松江でも有数の美観地区になっている道は上乃木三叉路から浜乃木の乃木駅へ通じる道である。当時は晴れた日は土埃が舞い、雨の日はぬかるみと水たまりだらけの悪路だった。これほどまでの変貌は全く夢にも思わないことだった。この道を歩き上乃木三叉路から馬の背の坂を下って雑賀小学校、四中へと通った。

当時の校区でいえば上乃木地区は乃木小学校に行くのだが、実は宇都宮から松江に引っ越してきた当初、上乃木の官舎が建つまでの 2 カ月余り、雑賀町に仮住まいをしていた。

それで雑賀小学校へ転入したのだが、さほどのいじめというほどのものはなかったものの、やっと友人もでき学校に慣れてきたところだったので、上乃木に移ってもそのまま雑賀小に通うことにしたのである。ところが世間は甘いものではなかった。

毎日雑賀小への行き帰りで必ず反対方向から来る乃木小学校の児童と遭遇する。上乃木町は私たちが松江に来る前年の昭和 25 年に八束郡乃木村が松江市に編入されたのを受けて翌 26 年大字乃木と大字松江分が合併して成立したばかりであり、今にして思えばまだまだ昔のムラ意識が濃かったのであろう、「ヨソ者は攻撃する」という不文律があるかのごとく毎日 1 対 2、1 対 3 の対決を覚悟しなければならない。あるとき鞄を振り回して悪童たちと対峙しているところを、近所のおばさんが目撃していて乃木小学校に注意をしてくれた。

朝礼で校長先生が言ってくれたのか翌日からピタリと仕掛けてこなくなった。昔の子供が素直だったのか、先生の威令が行きとどいていたのか、おかげで災難はなくなった。あの毎日対

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

うか。

ホールが見えなくなるまで乃木小学校の校庭で野球に興じたこと、山居川の辺りの田んぼでイナゴを一升瓶に一杯詰めて帰り飼っている鶏の餌にしたこと、近くにあった種畜場で雌雄を選別されたオスのヒヨコの哀れな末路を目撃してショックを受けたこと、蝮に咬まれそうになったりスズメバチに襲撃され必死で逃げたりしたことなど、当時のさまざまな情景を思い出し今でも夢に見ることもある。

我が家があった辺りに現在洒落たフランス料理店が建っている。当時の子供仲間のひとりが、あるミニコミ誌に出ていたその店の紹介文を教えてくれた。それにはこの丘を「宍道湖の夕日が照らす丘」、「風薫る丘」と表現していた。なんと洒落たキャッチフレーズだろう。60年昔のあの界隈を知る者にとっては、まるで野暮ったい田舎娘がいきなり最新のパリコレを身にまとったような妙な気分になったものである。

それにしてもなぜ「あげのぎ」なのだろうか。松江には上本庄、上東川津、上佐陀など頭に「上」のつく地名は他にもあるが、すべて「上」は「かみ」と読む。知っている人なら別に意識せず読むだろうが、初めての人にとっては一種の「難読」地名だろう。

「あげだ、こげだ」と言う土地なので抵抗がなかったのだろうかなどと余分なことを考えてしまう。

■「本庄村(町)との出会い」

面白　紘(本庄町)

「わが町・わが村・・・」について原稿依頼を受けて、いざ書こうとわが村を振り返って見るも、記録に留めてある事柄を除くと思い出の詳細な部分がなかなか浮かんでこないものである。しかしながら断片的な思い出の多い中で今でも鮮明に覚えている事柄があり、それが本庄との出会いである。

私が本庄と出会うのは、正に終戦直前の昭和20年の夏である。

私は、昭和15年5月、父の勤務地(邇摩郡宅野村立青年学校)であった宅野村で生まれた。そして、昭和16年8月、父が松江市立商工青年学校勤務となり、本籍地である宍道湖に面した松江市魚町での生活が再スタートすることになる。昭和20年4月、市立白潟幼稚園に入園するも戦争の激化に伴いまもなく幼稚園は閉鎖され、さらに戦火の拡大、空襲に伴う火災が発生した場合の延焼を防ぐ必要から、市内の民家の密集しているところから一部の家の取り壊し強制疎開が行われることになる。魚町のわが家は、その取り壊される家の中に入り、終戦直前に、八束郡本庄村大字上宇部尾に疎開することとなる。上宇部尾が何故疎開先となったのかはわからないが、この時から本庄での生活が始まり、高校を卒業し関西に出るまでの約14年間続くことになる。松江での生活は5歳までであり、その記憶はほとんどなく、子どもの頃の思い出はこの本庄から始まることになる。

上宇部尾は、蒿山のふもと、本庄の南端約3キロのところに位置する30戸ほどの民家が点在する中海に面した集落であり、村の前に広がる中海の水はきれいで泳ぐことができ、魚も沢山捕れ地引網業が行われていた。海や川で魚を捕り、漁師さんの地引網を引く手伝いをし、その駄賃として飛び跳ねている魚を貰ったりと、上宇部尾は、平和で長閑な田舎そのものであった。

本庄は、島根半島に鎮座する枕木山を仰ぎ見るように中海に添って広がっており、その枕木山からの中国地方最高峰である大山の眺望は絵から出たようである。

また、枕木山から眼下に見おろすと、自然に囲まれた本庄の町並みは、中央に大根島を浮かべ、満々と水をたたえ、ポンポン船が行き交う中海全体を包み込むように大きく両手を広げているように見える。今もって忘れることのできない光景である。

ただ、このような自然に囲まれた村であったが、対岸の米子に米軍基地があったため、米軍のジープやトラックが土煙を上げ、村の中を走り抜けており、戦争の傷跡がしばらくの間残っていた。

本庄は、松江から少し離れており娯楽施設などはなかったため、学校が終われば、ガキ大将の下に集まり竹バットを振り回す野球をしたり、四季折々の山、川、海にと自然を相手の遊ぶ場所を提供してくれたところであった。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

通など により、本庄もその姿を変えて、あのすばらしい自然に囲まれた町並みが姿を消し、記憶の中のものとなってしまったのはさびしい思いである。

■「松江今昔」

苅田莞爾(松江市浜乃木在住)

「松江大橋唐金擬宝珠・・・・・まつまつ松江は君を待つ」。ご年配の方は御存知の方も多いと思いますが、あの、西条八十作詞、古関裕而作曲の「松江夜曲」の一節です。

松江を懐かしむ代表の一曲と言っても過言ではないこの唄が、ここ久しく歌う事も、聴く事も出来ず、我々年代の者(私は 69 歳)はどうしたのかと、内心穏やかならざる気持ちでしたが、平成 19 年から始まりました「松江開府 400 年祭」の最終年であります本年、そのフィナーレを飾るに相応しくこの「松江夜曲」が「松江だんだん夏踊り」として、唄と踊りの市民総参加で催される事になり、懐かしい唄の復活?と言ったところでしょうか。五年に及ぶ「松江開府 400 年祭」も松江市の大変なご努力でいろいろな催しが企画され、そして実行されてきましたが、やはりその中にあっても昔の良さを残し、活かしつつい次の新しい松江市を創り上げたいものと思います。

今、当地の地方紙「山陰中央新報」に火曜日に連載されております「城下町の移ろい(松江今昔スナップ)」という欄がありますが、三十行ほどの記事と共に四、五十年前の写真と現在の同じ箇所の写真が載っておりますが、大変興味深くその欄をスクラップして、私自身の昔話用として保存しております。すでに 179 回を数えるに至り、随分と溜まりましたが、昔の松江市街を語るには手ごろな資料となっております。

先日もタクシーの運転手さんに「百姓町まで行ってくれますか」と言っても訝しげに首を捻るばかりで、今の運転手さんでは無理であったかと、口にした私が不味かったかと反省しきりでしたが、事ほど左様に現在の地元の人でさえ、昔?の町名、字名を知っている人が少なくなりました。

三十年ぐらい前頃は頻繁に言ったり、使ったりしておりましたがそれが通用しなくなりましたとは・・・。

「百姓町」「桶屋町」「紺屋町」「人参方」「松原通り」「栄町三叉路」「馬の背」とか懐かしい町の名が次々と思い出されるのですが・・・。何時でしたか、私の手元に届きました一通の手紙。所書きが昔の字名、番地にも関わらず届けて頂いたのですが、今のご時世、住居表示とかですっかり住所録が変わった後にも、こうして手元に届くと、配達いただいた郵便屋さんの心配り、思いやりをしみじみと嬉しく、有難く感じた事でありました。

八月一日に八束郡東出雲町が松江市と合併となり、念願でありました松江市20万都市として新しくスタートいたします。合併にあたり、いろいろと様変わりして行くのが必然でしょうが、今までの良さは残し、伝承して下さる事を願いたいものです。そして、東出雲町が松江市に合併されたのを縁に、東出雲町出身の方々が「近畿松江会」に参加、加入されん事を祈りますと共に、。「近畿松江会」が益々ご発展されますようお祈り致します。

私達も松江在住ではありますが、「近畿松江会」の会員の一人としてお仲間に入れていただき、多くの近畿在住の方々ともお知り合いになり、これからもお互いの情報交換等でお役に立てればと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。

■「思い出」

木村恵吉(雑賀町)

私は 1941 年雑賀町に生まれ、雑賀小学校、松江四中、松江商業高校を経て、昭和 35 年大阪で就職しました。今年70歳と古希を迎え、松江18年、大阪 52 年と住んでいますが、生まれ故郷の雑賀町、特に幼稚園~小学生の頃が懐かしく、60年以上経った今でも近所の 5~6 人が、年齢が違っても毎日遊び仲間として近くの天神川、四中近くの田んぼ、山、測候所などの自然が一杯の遊び場で、思い切り遊んだ事が鮮明に思い出されます。

特に、夏休みに宍道湖で泳ぎ、泳ぎ飽きるとシジミを足でまさぐって摘まみ上げ、袋一杯持ち帰った事。帰りに畑のトマトを黙って取って素早く食べた事(おいしかった。今でもこの味、忘れません)。そして家に帰って滅多に食べられないスイ

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

又、夏休みのトン捕りが最高に面白く、ムギワラトンボ、シオカラトンボ等は捕ろうと思えばすぐ捕れ、逃げれば遠くに逃げてしまうトンボは余り面白くなかったが、天神川の岸辺を矢のような速さで迂回してくるオンジョ(ギンヤンマ)捕りが一番面白かった。岸辺の茂みにタモを持って隠れ近づき、タモをサッと出しても軽々とかわされ、悠然と何事もなかったように、又、向かってくる姿に、暑さを忘れ夢中になって闘った。メスのギンヤンマを短い竿の先に糸で結び、頭の上でクルクル回し、口笛で「こーいしこい、このオンジョこい、まーけてにげるか・・・」と吹くと、オンジョが近づきメスギンヤンマに絡みついて面白いように捕れた。このメスギンヤンマを捕るのが難しく、シオカラトンボ、ムギワラトンボではオンジョは相手にもしてくれなかったことを覚えている。

四中の近くには「しんくみ」といった溜池があり、田んぼに水を時々流していたが、それと一緒に小魚も流され、小川に入ってタモで面白いように捕ることができた。フナ、タナゴなど、家に持ち帰って水槽、水がめなどで飼い、少しづつ大きくなっていくのが楽しく、自慢でもあった。

今から思えば、終戦間もない騒然とした時代だったが、大人もおおらかで、池で遊ぼうが、天神川で遊ぼうが、何をしても叱られる事もなく、自然と共に思い切り遊べた事、遊び道具は手づくりで工夫を凝らした事、年上の上手な人の後について習いながら遊ぶことに一生懸命だった事などが、幸せ一杯の思い出として蘇ってくる。

松江には法事などで帰ることがあるが、変わらないのは寺町の先祖のお墓、その周辺ぐらいで、雑賀町 9 号線、四中、天神川、測候所などは様変わりして昔の面影がないのが残念である。

しかし、雑賀町辺りを歩くと、気づかないようなところに面影が残っているように感じ、懐かしく幼い頃を思い出し、両親や遊び友達の顔が鮮明に浮かんでくるのである。

■「故郷　松江の椿」

坂本隆男(上乃木町)

松江は椿処である。市内の神社仏閣や個人宅で多くの見事な椿が見受けられるし、お城の西側に椿谷という地名も存在する。

私が椿に興味を抱いたのは、その花の美しい魅力そのものの他に、現代では世界中に分布する椿は我が国が原産地であると知ったことであった。日本原産であることは、椿の学術名がカメリア・ジャポニカと命名されていることからも理解される。

椿の原産地についてある外国人と議論したことがある。チェコスロバキア人であったが、まだ東西が鉄のカーテンで分断されていた時代のことであった。彼は東ベルリンに椿の大樹があって毎年美しい花が咲いていることを知っており、それを論拠としての日本原産説への懐疑の主張であった。後でいろいろ調べてゆくと彼の言う通り、それはベルリン植物園の温室に生存しているものであった。更にそれは、19世紀中頃に長崎・オランダ商館勤務のシーボルトが日本より持ち帰ったものの一本であることが判明した。その他にもポルトガルのリスボンにも現存しているという。

これらの美しき椿花に西洋人も魅了され、薔薇にも相当する魅力であると高く評価されていた。当時のヴェルディが作曲した歌劇「椿姫」などに名が残こされている。

椿はその昔、花の散りかたで首が落下することに喩えられたため武士階級では忌み嫌われており、決して庭の中央に配置される樹木ではなかった。椿が正統派と言える観賞用の樹木ではなく、また「椿事」という言葉もあるくらいであるから、そのステータスは推して知るべしであっただろう。そのような状況で黒澤映画では三船扮するアウトロー侍が、「俺の名は椿三十郎だ」と名乗った面白さがあった。今日のように堂々と「自分は椿愛好家である」とは名乗り難かったことは容易に推測される。

ところがである。江戸時代の第二代徳川幕府将軍である秀忠公は、熱狂的な椿愛好家であったことが知られている。これは天下が治まってきた環境変化とともに、父親の家康公に頭が上がらず、妻の江にも尻に敷かれたカカア天下でもあった家族的事情もあり、個人的趣味に没入して嵩じた結果なのであろうと推定する。

松江は椿のメッカと言われており、特に椿の種

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

った。その名残として松江城域では自生の五色椿が今でも珍しく見受けられる。

松江城主の参勤交代の折には珍種の椿を江戸幕府への土産として持参して献上していたようだ。秀忠時代の松江城主は二代目堀尾忠氏公であるが、その父親である初代吉晴公は秀吉時代からの最古参重臣であって情報通として有名であり、彼からの忠氏公へのアドバイスもあってのことなのであろう。その椿献上の行為は京極家や松平家と城主が替わっても継続されていたようである。

先日、近畿松江会の松江訪問二日目に松江歴史館の見学が行われた。私は見学を早々に切りあげ、その施設の前方の北惣門橋を通って堀を渡り、直ぐに右側(北方)のお堀に沿った小径を一人で歩いた。城域には種々の樹木があまり人の手が加えられなく林立しているが、この季節には遠方より見れば白っぽい花を塊状に付けた梅檀の木も見られる。暫く進んで堀の向こうに武家屋敷が見えてきた辺りだが、この辺では薮椿の高木が多く自生している処である。その昔に椿は木材として、実を絞って採取した椿油としても利用される有用な植物として大切に植樹されていたが、その一部が現在まで残されていたものである。

その中で最も巨大で、樹高約20メートルで根元の太さ約50センチメートル直径の親分格の椿大木があり、松江を訪問するたびに会いに行っていた。その大木の幹に触ると久しぶりに故郷で旧友と再会したような懐かしさと安堵感すら感じられていた。

しかし今回はその椿の大樹を探しても見つからないのである。昔の記憶を頼ってとうとう発見したものは、その木の切り株であった。付近にはその木の幹を端正に切断して積み上げられ椿材が山積されていた。切り株の年輪を外側から数えたところ、200 までは数えられたが、中央部は朽ちており空洞となっていたため正確には年数を測定できなかったが、おおよそ300年と考えられた。江戸中期の誕生であろうか。

折しもその場で出会った地元の年配者によると、この大樹は今年の冬の豪雪によって雪の重量と強風で倒壊してしまったそうだ。幹が中央部より朽ちていたことと、昨秋にその木の周辺を手入れして竹林を伐採してことで雪風の影響をまともに受けるようになったことも関係したのではないかとの意見であった。

松江の城と人を約 300 年間にわたり見守ってきて、毎年春になれば見事な花を咲かせていた椿の老大木。これが残念ながら姿を消してしまっていた。

「年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず」と唐の詩人は歌っているが・・。私が 72 歳という年になった今、旧友を失うことが多い年めぐりとなってきた。さらに自然もまた、長い時間の経過とともに永久ではないことを目の当たりにして実感させられ身につまされた。

今回の「故郷松江への旅行」は大変楽しいことが多かった旅行であったが一方、心に沁みる寂寥感をも感じさせられた故郷への旅であった。故郷松江もゆっくりと変わってゆく。

完

■「私の生まれた“新町”とは」

中村博行(新町)

私は、今まで自分が生まれた「新町」という町名を深く考えたことはありませんでした。遅まきながら最近になって、どうして新しい町？と疑問に思うようになり、この原稿を書くに際して初めて調べて見ました。

新町は、江戸時代は出雲国意宇郡に属し、天神橋通り南端の丘陵の下に位置しています。町名は、城下町編成後に新しく起きた町ということから江戸時代のおそらく初期には「新町」と名付けられたと推測されることから、町名は新町でも結構古い名前です。

この新町は、丘陵の上にある曹洞宗洞光寺の門前町の性格を持っていたようで、今もその名残を残すといわれています。

「桑原文庫」所蔵の江戸時代後期「松江雑賀町絵図」を見ると、私の生家(新町 8 番地)は当時、松江藩家老神谷源五郎下屋敷の一部で、この下屋敷は横浜町徳専寺辺りまで覆う広い敷地だったことが分かります。この下屋敷の北端は当時宍道湖に面し、湖上を一直線に北へ行くとお城に達す

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

わが中村家は、そんなに昔から住んでいた訳ではなく、父の長兄が大正５年に石見大田から出松した程度の歴史ですが、それでも 95 年ばかり住み続けて現在に至っています。

当分元気で過ごし、今は亡き父の長兄や父を偲んで、5 年後くらいには中村家出松 100 年記念のイベントを開こうかな。

雲州人参の生産現場から報告

竹谷　奨（八束町）

会報第３号で「ふるさとの思い出と思うこと」を寄稿しましたが、「人参については行く末を案じられと聞く」と締めました。３月初めに帰省の際、伝統を守り現在も生産を続けられる方にお話を聞くことができましたのでご紹介し、「人参」を大根島いや松江の特産品として是非とも守っていかなければならないことを読者の皆様にお伝えしたいと思います。

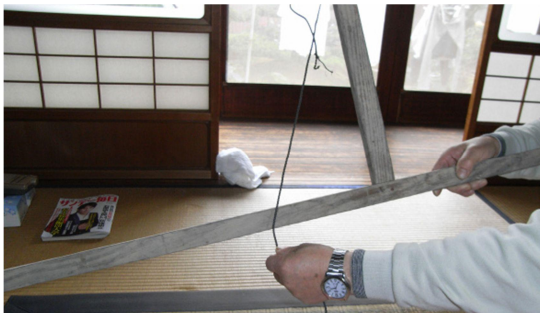
お話をお聞きしたのは八束町二子にお住まいの安部昂之（あべ　たかゆき）さん８３歳

安部さんは旧制松江中学進学を希望されていたのですが祖父、お父様が同時期に他界、進学を断念し家督を継がれてから７０年余りに亘り人参の生産に携わってこられました。

人参は６年根をもって１０月に収穫しますが（卵と鶏ではないのですが）植え付けから４年目の梅雨明け頃に付けた赤い実（なぜ４年目なのか、５年目、６年目は多くの実を付けるので、根に養分が蓄積されないので実を付けないよう処理するとのこと。またサイクル的に４年が好ましいとのこと）を１１月に種苗、水やりを欠かさないよう注意し、翌年春３月に芽吹いたものを苗床から移植、以後毎年３月に植え替えを行うとのことです。

生産に必要不可欠なものは北向き（好ましいのは北北東の方角らしい）の麦わら屋根ですがこの傾斜は写真のような簡単な物差しで、杭の高さを調整するとのこと。北向きの傾斜は日が直接差さないようにと思っていましたがそれだけではなく、北からの雨が振り込むようにとのことでした。

大根島は屋根の材料を生産していませんので（麦より牡丹、人参でしょうか）麦わらは斐川地方へ買い付けに、杭は栗を使用します。（なぜ栗なのか、６年の歳月に耐える耐久性に優れて



いる）現在は補修などに鉄パイプ、ラワン材の薄板を代用するとのことです。

「人参を守ってほしい」との問いかけに、生産者が年々減っているのは、人参より牡丹が短期で出荷しやすいこと、屋根材の調達が極めて困難であること、やっと育てたところで盗難にあうことなどなど、後を継いでくれと言えない状況にあるとのことでした。

実際、安部さんも残念ながら夫婦でやってきたが、高齢であることを理由に今年の植え付けを最後にするとのことでした。

今年からある企業が「人参」の生産を始める準備をしているようですが、江戸期より引き継がれてきた伝統と品質を守れるのか、私事ですが疑問に思うところがあります。

次回より安部さんにご協力いただき、生産の過程や今回お届け出来なかった耳寄りな話など写真をおりまぜ、読者の皆様にお伝えして参りたいと思います。

「守っていく」方法を皆様にもお考えいただければ幸いに存じます。ご意見、お知恵など近畿松江会のＨＰ掲示板にお寄せ下さい。

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会　員　名　簿　（中・小学校区別）〔1／4〕

平成23年8月現在

①より”ふるさと”に密着した「会員名簿」を編集したいと考え、松江市教育委員会から現在の中・小学校区（通学区域）の資料をいただき、皆様からご申告いただいている「出身町」をあてはめてこの名簿を作成しました。
②学校の統合、新設、学区の変更なども、いただいた資料の限りで表現しました。
③不具合い、間違いがあります場合は、お許しいただきますとともに、事務局までご一報いただければ幸いです。
⇒（注）島根大学付属小（中）学校は、市内全域が対象ですのでこの表には記載していません。皆様からいただいた「出身町」のところに掲載させていただきましたので、ご了承ください。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】 **生馬小**（上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部） **内中原小**（殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台） **城北小**（北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、淞北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部） **法吉小**（比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部）	
＜石橋町＞	井上 芳子（高槻市）　片岡　扶美子（芦屋市）　清水　良子（茨木市） 田村　稔久（豊中市）　永井 ひろし（京都市）
＜内中原町＞	千葉 新一（池田市）
＜奥谷町＞	柏木　薫（吹田市）　杉原　伸治（松江市）
＜春日町＞	足立　猛（神戸市）
＜片原町＞	土田 和男（大阪市）
＜北堀町＞	伊藤 征治（奈良市）　隠木 喜美子（枚方市）　平山 武秀（箕面市） 六鹿 寿美（吹田市）　山口 茂（京都市）　糸川 孝一（大阪市）
＜黒田町＞	森脇 美紗子（豊中市）
＜淞北台＞	山田 敬子（吹田市）
＜外中原町＞	池田 康郎（宝塚市）　四方田 司（明石市）
＜殿町＞	飯塚 満男（茨木市）　三島 薫（生駒市）
＜中原町＞	佐々木 悦子（大阪市）　佐藤 栄治（西宮市）　宍道 弘志（吹田市）
＜西法吉町＞	
＜東生馬町＞	青戸 哲哉（松江市）　青戸 俊夫（神戸市）　藤原 敬（松江市）
＜法吉町＞	由木 文彦（京都市）
【二中校区】 **朝酌小**（西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町） **川津小**（菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町） **母衣小**（末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園） **持田小**（福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部）	
＜上東川津町＞	井上 隆吉（高槻市）
＜末次本町＞	山田 稔（富田林市）　三成 宏二（木津川市）
＜西尾町＞	篠木 豊（大阪市）
＜西持田町＞	鶴羽 孝子（尼崎市）
＜東本町＞	木村 八重子（八尾市）　永江 幹雄（神戸市）
＜母衣町＞	川角 十四枝（高槻市）
＜南田町＞	松井 恵（京都市）　山﨑 杲（西宮市）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会　員　名　簿　（中・小学校区別）〔2／4〕

平成23年8月現在

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】 雑賀小（栄町、新町、松尾町、雑賀町、竪町、本郷町、西津田一部、上乃木一部） 中央小（天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部） 〇平成7年4月1日　白潟小学校　＋　朝日小学校　⇒　中央小学校	
＜朝日町＞	岡田 清（大阪狭山市）
＜伊勢宮町＞	竹谷 曜子（大阪市）　宮内 玲子（大阪市）
＜雑賀町＞	足羽 俊子（西宮市）　奥村 伸子（豊中市）　小原 弘幸（枚方市） 苅田 運三郎（明石市）　木村　恵吉（吹田市）　篠﨑 一浩（芦屋市） 篠崎 治（神戸市）　澄川 光成（河内長野市）　武田 和子（宝塚市） 福間 則博（宝塚市）　江角 要 一（大阪市）　武田 貞雄（堺市）
＜白潟本町＞	古田 郁子（豊中市）
＜新町＞	中村 博行（名張市）
＜新雑賀町＞	鳥谷 芳男（高槻市）　永井 彰（大津市）　仁宮 龍聖（高石市）
＜大正町＞	赤井 真一郎（大阪市）　望月 修一（豊中市）
＜竪町＞	篠田 恵美子（京都市）　茂居理智子（堺市）　竹内喜次男（高槻市）
＜天神町＞	熊野 禮助（箕面市）
＜灘町＞	長谷川 忠雄（奈良県北葛城郡）
＜東朝日町＞	菊池 尅雉（神戸市）　山根 一朗（神戸市）
＜本郷町＞	
＜横浜町＞	苅田 京子（松江市）岡本 由美（伊丹市）
【四中校区】 古志原小（古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町） 津田小（東津田町、古志原一部、西津田一部） 【湖南中校区】　〇昭和50年4月1日　新設 忌部小（西忌部町、東忌部町、玉湯町一部） 乃木小（上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島）	
＜上乃木＞	神谷 紀男（堺市）　掃部 恵子（枚方市）　諏訪 秀富（茨木市） 諏訪 宏（大阪市）　田中 英明（交野市）　森廣 洋子（芦屋市） 坂本 隆男（大津市）
＜古志原町＞	曽田 良子（奈良市）　三代 知範(神戸市)
＜西津田＞	達山 暢（松江市）
＜浜乃木＞	内部 茂（茨木市）　苅田 莞爾（松江市）　牧野 千代美（大阪市） 村上 裕司（西宮市）
【湖東中校区】　〇平成5年4月1日 新設 大庭小（大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部） 竹矢小（矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町）	
＜大庭町＞	押田 良樹（吹田市）
＜山代町＞	井川 和美（三田市）
＜八幡町＞	大野 徹（奈良市）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会　員　名　簿　（中・小学校区別）〔3／4〕

平成23年8月現在

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【鹿島中校区】 鹿島東小 鹿島町（御津、上講武、南講武、北講武、名分一部） 惠曇小 鹿島町（惠曇、手結、片句、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部） 佐太小 鹿島町（佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部）	
＜鹿島町＞	宇藤 二男丸（和泉市）　坂井 茂子（亀岡市）　竹内 昭雄（尼崎市） 山本 雅昭（大阪市）
【湖北中校区】	○平成6年4月1日　古江中学校　＋　秋鹿中学校　＋　大野中学校　⇒　湖北中学校
秋鹿小（秋鹿町、岡本町、大垣町）	○平成22年4月1日　中島小学校　＋　秋鹿小学校　⇒　秋鹿小学校
大野小（大野町、上大野町、魚瀬町） 長江小（東長江町、西長江町） 古江小（古曽志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部）	○（予定）平成23年4月1日　長江小学校　＋　古江小学校　⇒　古江小学校
＜秋鹿町＞	竹田 洋一（西宮市）
【島根中校区】	○平成16年4月1日　島根中学校　＋　野波中学校　⇒　島根中学校
島根小（島根町）	○平成17年4月1日　大芦小学校＋加賀小学校＋野波小学校　⇒　島根小学校
＜島根町＞	石橋 直之（富田林市）　小川 龍朗（京都市）　小川 勉（柏原市） 客野 伸（神戸市）　藤城 坦（神戸市）
【宍道中校区】 大谷小 宍道町（上来待和名佐地区） 来待小 宍道町（東来待、西来待、上来待） 宍道小 宍道町（宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和）	
＜宍道町＞	有田 嵩（寝屋川市）　池尻 和子（東大阪市）　伊藤 雅義（京都市） 太田 厚（加古川市）　太田 幸廣（神戸市）　小田 兼久（豊中市） 川島 俊雄（川西市）　木原 貢（豊中市）　小高 久始（堺市） 木幡 泰三（寝屋川市）　木幡 晃正（篠山市）　皐月 禧暉（宝塚市） 高木 征次（交野市）　武田 精（八尾市）　田中 晨子（枚方市） 土江 安雄（堺市）　永原 忠巳（茨木市）　光田 仁一（奈良市） 渡部 勇（宝塚市）　渡部 恵美子（宝塚市）　和田 亮介（豊中市） 古川 高志（名張市）
【玉湯中校区】 大谷小 玉湯町（大谷一部） 玉湯小 玉湯町（布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部）	
＜玉湯町＞	黒﨑 忍（西宮市）　長谷川 紀美子（奈良県北葛城郡）　岡本 幾三（伊丹市）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会　員　名　簿　（中・小学校区別）〔3／4〕

平成23年8月現在

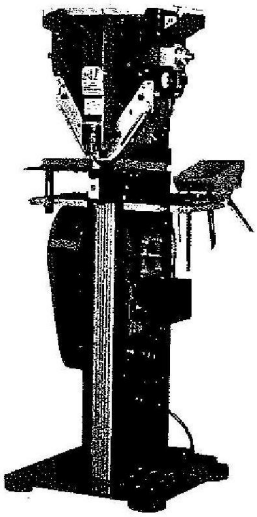
校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【本庄中校区】 本庄小（手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部）	
＜邑生町＞	松本 稔（川崎市）
＜上宇部尾町＞	内田 美二（伊丹市）
＜上本庄町＞	松本 育郎（堺市）　松本 耕司（枚方市）　松本明夫（伊丹市）
＜新庄町＞	寺前 澄子（高槻市）
＜手角町＞	北林 栄（堺市）
＜本庄町＞	面白 紘（橿原市）　坪倉 司郎（川西市）　山内 和美（吹田市） 三代 雅樹（加古川市）
＜枕木町＞	木島 光子（大津市）
【美保関中校区】〇平成7年4月1日　美保関北中学校　＋　美保関南中学校　⇒　美保関中学校 美保関小（美保関町） 〇平成13年4月1日　美保関小学校＋森山小学校＋福浦小学校⇒美保関東小学校 〇平成13年4月1日　七類小学校＋片江小学校⇒美保関北小学校 〇平成18年4月1日　美保関東小学校＋千酌小学校＋美保関北小学校⇒美保関小学校	
＜美保関町＞	愛田 幾也（神戸市）　梅木 隆志（大阪市）　景山 麻利子（藤井寺市） 花本 博（城陽市）
【八雲中校区】 八雲小（八雲町）	
＜八雲町＞	石倉 文行（豊中市）　藤田 宏（堺市）　薮田 とし江（大阪市）
【八束中校区】 八束学園（八束町） 〇平成21年1月　八束中学校＋八束小学校	
＜八束町＞	岩田 太（神戸市）　門脇 基（茨木市）　門脇 幸夫（大阪市） 川原 ひろ子（豊中市）河野 宗子（草津市）　名誉会員：白木 みのる（芦屋市） 高瀬 保子（豊能町）高橋 小梅（東大阪市）　竹谷 獎（大阪市） 坪山 孝美（宝塚市）　福屋 篤子（豊中市）　松本 悟（大東市）

■【松江市外出身の会員】	
＜安来市＞	荒銀 昌治（西宮市）　千葉 潮（吹田市）
＜東出雲町＞	小松 哲夫（京都市）
＜出雲市＞	杉谷 百合子（京都市）　竹内 一郎（大阪市）　鳥屋尾 勇（大阪市） 布野裕二（尼崎市）
＜斐川町＞	金山 富美（松江市）
＜温泉津町＞	林 邦幸（京都市）
＜浜田市＞	北島 幸子（豊中市）
＜津和野町＞	青木 順次（守山市）
＜横浜市＞	長谷川 緑（枚方市）
＜京都市＞	小川 ますみ（京都市）
＜大阪市＞	名誉会員：三林 京子（大阪市）
＜明石市＞	小松 雅子（明石市）　藤原 浩子（三木市）
＜姫路市＞	山本 達郎（姫路市）
＜呉市＞	苅田 チエミ（明石市）
＜萩市＞	守田 宣昭（松原市）

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

自動ホック打機　TM－200V

累積生産台数　8,000台を誇る
伝統を持つ代表機種TM－200をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェアー及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック

プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型　設計・製作

武　田　精　機　株　式　会　社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役　武田　精

本　社
〒581-0041
大阪府八尾市北木の本
1丁目12番地
TEL：072（923）5181
FAX：072（923）5186

大阪営業所
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町
1丁目8－11
TEL：06（4705）7500
FAX：06（4705）7433

三重工場
〒518-1155
三重県伊賀市治田
字大沢3090－23
TEL：0595（20）9051
FAX：0595（20）9052

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

に真心でサポートします

株式会社 はーとケアグループ

代表取締役 下田 弘子
（京都島根県人会 副会長）

介護保険対象
訪問介護事業所
あったかハート伏見東

代替療法の普及・研修
シンパシー協会

介護用品・書籍の販売
ふわり

介護保険対象外
在宅介護サービス
ゆうケア サポートサービス

代替療法
なぎつじ シンパシー施術
シンパシーステーション

〒607-8162
京都市山科区椥辻草海道町12-7 タケナカビル5F
TEL 075-583-2611 FAX 075-592-1022
http://www.heartcare-g.co.jp/

ユニフォームはレンタルの時代へ！！
HAN・HIN 阪神ユニフォーム販売 有限会社

弊社はピンクリボン運動を
応援しています

本　　社〒540-0021　大阪市中央区大手通2-3-17
TEL06-6943-6990　FAX06-6943-6980
E-mail ： hanshin@hanshin-uniform.jp
奈良営業所〒631-0846　奈良市平松町4-6-1
TEL0742-51-8226　FAX0742-44-4623
北大阪営業所〒569-0041　高槻市上土室1-8-1
TEL072-690-1787　FAX072-646-6817

Il bar BICE
イル バール ビーチェ
2007

お客様のお好みは白？赤？
貴方に合ったワインをお薦めします

Sugimoto Ayako
杉本 亜矢子

〒540-0038　大阪市中央区内淡路町2-1-16
ご予約：TEL　06-6949-4737

家庭料理 鈴 すず

〒541-0048
大阪市中央区瓦町1-1-5　大王瓦町ビル1F
（地下鉄堺筋線北浜駅、堺筋本町駅から徒歩5分）
電話 06（6222）4770

大阪ライフサポート協会

～あなたの勇気がいのちを救う～
（心肺蘇生法とＡＥＤの活用の普及）
ＮＰＯ法人 大阪ライフサポート協会

事務局　松 本　耕 司
Koji Matsumoto

〒533-0033
大阪市東淀川区東中島1-17-5　ステュディオ新大阪416
TEL：06-6370-5883　FAX：06-6370-5884
E-Mail：matsumoto@osakalifesupport.jp
URL：http://osakalifesupport.jp/
大阪府ＡＥＤマップ　http://osakaaed.jp/

おかげさまで会社設立１０周年
お部屋探し、不動産の売却、購入、不動産の事ならお任せ下さい。

有限会社　エクスパートナーズ

代表取締役　内部（うちべ）　茂（しげる）
大阪府知事（2）第52344号
（社）大阪府宅地建物取引業協会会員
〒531-0075
大阪市北区大淀南 1-4-18
ウェスティンホテル向いです。
Tel 06-6452-5581 / Fax 06-6452-5455
URL http://www.eks-p.com/E-mail info@eks-p.com

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

会　長　鵜鶘　修一
審査部長　三角　邦男
〒690-1311　松江市美保関町七類3246-1
メテオプラザ内
ＴＥＬ　0852-72-3939
ＦＡＸ　0852-72-3888

（松江城の国宝指定を
目指しています）

社団法人　松江観光協会
会　長　鵜鶘　修一
〒690-0874　松江市中原町１９番地
ＴＥＬ　0852-27-5843
ＦＡＸ　0852-26-6869

NPO法人 ASS松江
Active Senior Support MATSUE
理事長　原　顕夫
〒690-0826 松江市学園南2丁目2-3-501
連絡先　TEL/FAX.0852-32-4870
携帯 090-9069-0979

松江の雅味
山川・朝汐・路芝
風流堂

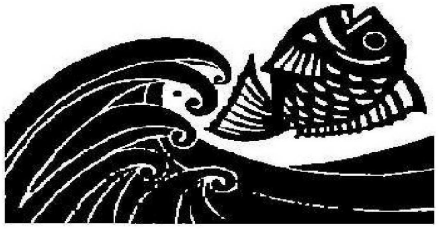
関西頓原会　会長
佐和田登記測量事務所（松江市）顧問
佐和田　丸
〒573-1182枚方市御殿山町11-22-610
Tel/fax 072-848-7417
E-mail:malu122@nifty.com

・松江事務所
佐和田ひとし登記測量事務所
〒690-0151松江市古曽志町567－174
Tel/Fax 0852-36-6589

松江市の土地家屋調査士事務所を関西へ移転計画中、仕事・事務所の提供・紹介等ご協力をお願いします

松江商工会議所
会頭　古瀬　誠
副会頭　大谷　厚
副会頭　田江　泰彦
副会頭　有澤　寛
松江市母衣町五五―四
ＴＥＬ〇八五二―二三―一六一六

島根県人の溜り場



代表取締役
鳥屋尾　勇
（出雲市出身）

大阪市天王寺区玉造元町三―二
電話　〇六―六七六八―九七六七

活旬だいます
大耕

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

【ハース】
haes
happiness a cozy eternity space
【Open】8:00pm～
Tel.(075)551-5811
原 ますみ
090-1146-6683

劇団前進座(株)
京都営業所
事務長
木村 こずえ
〒605-0802
京都市東山区大和大路四条下ル大和町4-2
ナラフジビル503
TEL：075-561-6300
FAX：075-525-2882
E-mail:k-zenshinza@syd.odn.ne.jp
URL:http://www.zenshinza.com/

篠﨑倉庫株式会社
代表取締約会長 篠 﨑 治
〒561-0883 神戸市中央区栄町通4-1-11
TEL 06-6852-3365 FAX 078-361-3647
その他事業所 神戸市中央区弁天町（シーガルハーバービル）
神戸市中央区栄町通（エタニティ栄町ビル）
神戸市兵庫区築地町
神戸市灘区灘浜町（シー・スクエア摩耶）
大阪市豊中市向丘（豊中ビル）

ELM
株式会社 エ ル ム 不動産
代表取締役 木村 恵吉
Keikichi Kimura
宅地建物取引主任 大阪第091986号
〒532-0003
大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室
TEL 06-4807-7676 FAX 06-4807-7677
携帯:080-3108-3330

TAトータルプランニング
お墓の移転(いてん)から建立(こんりゅう)・墓埋法(ぼまいほう)に関する
こと等なんでもご相談に応じます
代表 竹谷(たけたに) 奨(すすむ)
〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34
TEL 090-3054-9159 FAX 06-6764-7731
Email : osktake@ff.iij4u.or.jp

近畿松江会
顧問 和田 亮介
〒561-0883
豊中市曽根西町4丁目10-6-310
ＴＥＬ06-6852-3365 ＦＡＸ06-6852-3387

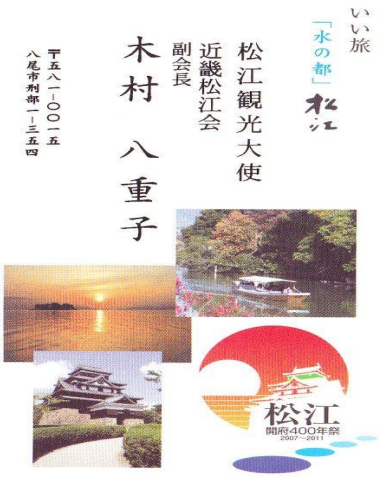
PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

近畿松江会

幹事長　有田　嵩

〒572-0042
寝屋川市東大利町23-4
ＴＥＬ・ＦＡＸ　072-826-0151

空調機器・熱交換器専門製作
木村工機株式会社
顧問
木村　八重子
〒540-0006
大阪市中央区上町A番二三号
TEL〇六―三七三三―九四〇〇番（代表）
FAX〇六七六四―六一六三番



近畿松江会

常任幹事　井上　隆吉
常任幹事　井上　芳子
〒569-1147
高槻市土室町２３－４
ＴＥＬ・ＦＡＸ　072-696-7334

近畿松江会

相談役　伊藤　雅義

〒607-8076
京都市山科区音羽役出町１１－１６
ＴＥＬ　075-592-3221
ＦＡＸ　075-592-3221

近畿松江会

会　長　苅田　運三郎

〒674-0074
明石市魚住町清水2249-5
ＴＥＬ・ＦＡＸ　078-943-1500

PDF Complete
Your complimentary use period has ended. Thank you for using PDF Complete.
Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features

3月11日に起きた未曽有と言う言葉が軽く聞こえてしまうほどの「東日本大震災」は、我々日本人にさまざまな問いかけをしているように思います。

存在の脆弱さという点では政治の世界などはその最たるもので、国民の勤勉さ、我慢強さ、やさしさだけが頼りというのもいかがなものかと思いますが、案外、そこに立ち返って日本を再構築していくしかないようにも思います。

一人ができることは限られていますが、身近なところから自分ができる行動を起こしていくことが、とても大事なことではないでしょうか。

あらためまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々の生活と安全が一日も早く完全復旧することを心よりお祈り申し上げます。

この大震災を機に、あらためて「人の絆」といったことを強く考えられた方も多かったことと思いますが、その意味でも、我が「近畿松江会」というゆるやかな“ふるさと集団”はいいものですね。本当に癒されます。

「神話の国」をふるさとに持つなどという稀有？な共通項をベースに、一周遅れのランナーであっても、今や精神世界では日本の先頭を走っているのではないかという不思議な余裕と自信？はどこから来ているのでしょうか。すべて、ふるさとのお陰であると信じたいと思います。

この会報“松江だんだん”は、ふるさと松江に“だんだん”を言いながら、その「輪」が近畿の地で広がっていくことを願って編集しています。

その一端を、「ふるさと訪問バスツアー」の感想文や、「わが町・わが村」を語り合うページから読み取っていただければ編集子としては望外の幸せです。ご寄稿いただいた皆様には心から御礼を申し上げ、会員の皆様のご一読をいただければ誠に幸いに存じます。

最後になりましたが、会報発刊にご協力いただきましたすべての皆様に御礼を申し上げますとともに、いつものことながら、竹谷事務局長には格段のご尽力をいただきました。“だんだん・だんだん”と重ねて御礼を申し上げます。

担当（常任幹事・広報）松本耕司

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

それにしても、わが祖国は神話のことなら話題に事欠きませんが、いよいよ「古事記1300年」のイベントが本格的になっていくようです。

余談ですが、私は3月19日の山陰中央新報の特集「神話のふるさと」・国引き神話④を見て、目が点になりました。引いてきた国は四つ。西から杵築の国。狭田（さだ）の国、闇見（くらみ）の国、一番東が三穂の国で、三つはすぐにわかり、それぞれに大きな神社もあります。しかし、宇波地溝から西、多久地溝までという闇見の国のことを全く知りません（でした）。

しかも、その闇見（くらみ）の国は、今の松江市の橋北の全域、我がふるさとの本庄や日本海側の津々浦々をすべて含んでいるというではありませんか。さらに、蒜山から北東の本庄側には久良弥（くらみ）神社（新庄町）が今も鎮座していると知っては、これは我が余生の研究課題ではないかと密かに思っている次第です。

「ふるさと」は、まだまだ我々を十分に楽しませてくれるようです。皆様も神話の世界に旅立たれてはいかが？とお誘い申し上げます。

事務局からのお願い

【近畿松江会へご加入のおさそい】を差し込んでいます。
ふるさと松江にご縁のある方をご紹介ください

近畿松江会　会報　第4号

■発行：平成23年9月
■発行者：近畿松江会事務局
〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町 2-34
竹谷設計事務所内
TEL：06-6765-2101　FAX：06-6764-7741
E-mail：　osktake@ff.iij4u.or.jp
■印刷・製本：株式会社　福谷洋紙店
〒537-0012 大阪市東成区大今里 1-1-25
TEL：06-6978-2577　FAX：06-6978-2588